

「プロのトラックドライバー」とは

(兵庫) K運輸㈱ N. N

プロのトラックドライバーは、全国で84万人位いると言われています。しかし、単にトラックを運転し、荷物を運ぶだけではプロとしての責務を果たしているとは言えないと思います。

プロのドライバーとは、一般的にはトラックを運転して、荷物を運搬することで収入を得るドライバーです。しかし、これは単なる定義に過ぎません。プロのドライバーに求められる能力には、優れた運転技術、運転マナー、顧客に対する接客能力などがあります。他にもトラックドライバーとして遵守すべき事項をしっかり守っていくことが挙げられます。

プロフェッショナルを名乗るには、トラックドライバーとしての役割と使命を果たしていくことが必要だと思います。そこで私なりにプロのドライバーとして習得すべき技術について考察いたしましたので、その一端を発表させていただきます。

まず、第一に運転技術でしょう。トラックドライバーはトラック運転のスペシャリストです。どれだけ質の高い運転技術を持ち、継続的に発揮できるかが問われます。その技術には環境に配慮した運転、安全運転、マナーやモラルのある運転も含まれると思います。

また、顧客に対する営業技術を備えていることも重要です。トラックドライバーに求められる営業技術には、集配時の言葉遣いや態度がしっかりしていること、服装や身なりがきちんとしていることなどがあると思います。適切な接客マナーを身につけ、相手先に好感を与えることで会社を代表する顔としての役割を果たすことができます。

トラック輸送は、日常生活や社会、経済活動に欠かせないものですが、その一方で排出ガスによる大気汚染や地球温暖化などの環境問題も大きな課題です。中でも粒子状物質(PM)は人の健康に直接、悪影響を与えられていると言われております。また地球温暖化の原因となる二酸化炭素も排出しています。

こうした大気汚染防止や省エネルギーの視点に立ち、環境に配慮した運転や整備、点検に心掛けていくこともプロドライバーの重要な使命です。その為には一人ひとりのドライバーが普段から「エコドライブ」を実践することが大切だと思います。「エコドライブ」は環境保全のために必要なだけでなく、交通事故の防止や運行経費の節減など、さまざまな効果をもたらします。特に「アイドリングストップ」はエコドライブの中心となるものですから、荷降ろしなどの駐停車時には、こまめにエンジンを切るようにしたいものです。

また、顧客が最も強く望むものは積荷の丁寧な扱いです。荷物を積む際のスピードや手際の良さも必要ですが、荷物を傷つけず、安全に確実に運ぶことを最優先した積み込み技術が求められます。車体の大きなトラックは一般の乗用車から見るとそれだけで威圧感があります。幅寄せやあおりなどの威圧運転、嫌がらせ運転は厳禁です。

トラックは走る広告塔でもあります。プロとして他車の手本となるようなマナーの良い運転を心がけるべきです。走り慣れている道路だから、運転に自信があるからといった過信も禁物です。常にマナーとモラルを守るのがプロドライバーだという自覚が不可欠です。

輸送の基本は「安全、確実、迅速」に荷物を運ぶことです。これを滞りなく遂行する為に必要なのがトラックドライバーとしての技術です。私と同僚は雨の日を除き、ほぼ毎日、30分~40分位トラックの清掃に費やしています。

イエローハット創業者鍵山秀三郎氏の掃除の実践哲学の本を以前に読んだことがあります。それによると、掃除をすると心がきれいになる。気づく人になれる、トイレや車両の掃除を徹底してやっていると、心が落ち着き、車両事故が限りなくゼロに近づき、さらには、何かの折に顧客の方を乗せたそうですが、顧客にきれいで気持ちが良いと褒められ、それが信用、信頼につながり、仕事の固定客の獲得にまでなったという事が書かれており、感動いたしました。

車両はよき相棒であり、よき友です。その車両を隅々まで日々、力を込めて磨いています。その事が自分を磨くことになり、人間性を高め、プロのドライバーとして仲間入りができるように、継続していきたくと思っています。

当初、このテーマについて、果たして書けるのかなという不安がありました。しかし、いろいろ調べていくうちに気づいたことがあります。それはプロのトラックドライバーになる為には、何も特別なものは必要ないのではないかと思います。凡事徹底の如く、日々、基本的なことを徹頭徹尾、積み上げることで可能ではないかと思えてきました。

これからも、今まで同様、多方面からの知識や情報を学び、精神面、体力面の充実強化をはかりながら、プロに向かって邁進したいと思っています。